

日本学術会議  
第二部会（第26期・第8回）  
議事録

I 日時 令和7年8月7日（木）16:30～18:00

令和7年8月8日（金）10:00～12:00

II 会場 北海道大学医学部百年記念館大会議室にてハイブリッド会議

III 出席 42名（現地出席者：24名、オンライン出席者18名）

【8月7日】

現地：神田 玲子、尾崎 紀夫、堀 正敏、岩崎 博史、岡村 康司、小林 武彦、五味 文、佐々木 裕之、高山 弘太郎、玉腰 暁子、土井 元章、中嶋 康博、西川 正純、西谷 陽子、野田 岳志、樋田 京子、深田 吉孝、古屋敷 智之、山本 晴子、柚崎 通介、渡辺 雅彦

オンライン：新井 秀典、池邊 このみ、磯部 祥子、奥田 真弘、奥野 恭史、木村 直子、熊谷 晋一郎、斯波 真理子、杉山 淳司、高橋 良輔、西村 ユミ、藤原 康弘、村山 美穂、森 和俊、安友 康二、山口 香、山田 泰広

（敬称略）

【8月8日】

現地：神田 玲子、尾崎 紀夫、堀 正敏、五十嵐 和彦、磯 博康、岩崎 博史、岡村 康司、加藤 和人、小林 武彦、五味 文、佐々木 裕之、高山 弘太郎、玉腰 暁子、土井 元章、中嶋 康博、西川 正純、西谷 陽子、野田 岳志、樋田 京子、深田 吉孝、古屋敷 智之、山本 晴子、柚崎 通介、渡辺 雅彦

オンライン：新井 秀典、池邊 このみ、磯部 祥子、奥田 真弘、奥野 恭史、木村 直子、杉山 淳司、高橋 良輔、竹中 麻子、西村 ユミ、藤原 康弘、村山 美穂、森 和俊、安友 康二、山口 香、山田 泰広

（敬称略）

III 議題

8月7日（公開審議）

1. 生命科学研究を取り巻く状況：横断的活動について

○第2回生命科学系の学協会連合体との円卓会議について

・円卓会議の骨子について改めて説明がなされた。続いて、第二回円卓会議の話題について資料1に基づいて説明がなされた。

- ・学術会議からは2026年G7での声明に関する国際連携と学協会連携について提案し、協力を求めることとした。

#### ○2026年G7主催国アカデミーからの依頼と対応

第26期のアクションプランにおいて、学術の発展のための各種学術関係機関との密接なコミュニケーションとハブとしての活動強化、さらに、ナショナルアカデミーとしての国際的プレゼンスの向上が重要ポイントとして挙げられている。それを踏まえて、2026年G7での声明に関する国際連携において、中心概念として「Brain Health(脳の健康)」を提唱し3つの提言を提案することについて、説明がなされた。

### 2. 第二部附置及び第二部関連の委員会・分科会の活動について

※イベントの計画を中心に、4月以降の進捗を各委員会から報告

#### ○機能別委員会からの報告

- ・イベントの計画について資料3について説明がなされた。
- ・4月からこれまでに開催された公開シンポジウムなどのうち、農学委員会から実施状況について説明がなされた。
- ・8月以降に開催される公開シンポジウムなどについて、数名の委員から簡単な説明がなされた。
- ・公開シンポジウムにかかる支出について、本年度は外部有識者や委員の旅費などの予算配分されることが説明された。

#### ○科学者委員会研究評価分科会の現状報告

- ・科学者委員会研究評価分科会の現状報告として、意思の表出「研究の活性化へ向けた研究評価の具体的な改善方策」(案)の作成状況について骨子案を基に説明がなされた。

公開審議事項としてそのほかの議題、意見

- ・二部生命科学系学術雑誌問題検討分科会として、今後のjournalの動向など新しい情報があれば提供してほしい旨依頼があった。

### 8月8日(非公開審議)

#### 3. 日本学術会議の在り方について

#### ○アクションプランの進捗

- ・アクションプランの進捗状況について、特にWG内での検討プロセスも含めて説明がなされた。

○日本学術会議法及び今後の予定について

- ・ 会員向け説明会資料に関して簡単に説明がなされた。特に制度設計のための委員として設立委員の任命について詳しく説明がなされた。
- ・ 法律の附帯決議に沿って日本学術会議が運営されていることを監視する組織の設置が提案された。

4. 第26期のまとめに向けた活動

○第二部における意思の表出に関する状況について

- ・ 科学的助言等対応委員会より意思の表出のプロセスについて説明がなされた。特に2026年の3月末までに発出することを目指してほしいとの依頼があった。期内で意思の表出に関するフォローアップを行える。
- ・ 第26期意思の表出すべてについての進捗状況について事務局からその概要が報告された。
- ・ 第二部が関わっている意思の表出についての詳細な進捗状況、並びに今後提出予定の意思の表出について事務局から報告された。

○第二部における予算執行計画について

- ・ 第二部に関わる予算執行状況について事務局から説明がなされた。
- ・ 今後の第二部の執行方針について部長から説明がなされた。旅費の残額については、10月-12月分旅費申請については8月24日を申請締め切りとし、1月-3月分の旅費申請については11月末を締め切りとし、支援を進めていくことになった。なお、申請締め切りについては柔軟に対応するとし、部会として執行方針が承認された。

○資料9：令和7年度「審議活動の充実強化」に係る経費の支払いの実施について

- ・ 本年度予算として審議活動の充実強化経費として会員手当、委員手当、委員等旅費が別途予算立てされている。査読者への支給、フォローアップにおける説明会や会議のための会員、連携会員の旅費や手当、サイエンスカフェに出席する会員、連携会員の旅費や手当、公開シンポジウムの外部有識者の旅費などの経費となる。今後の申請の仕方について事務局より説明がなされた。

○今期のまとめへの意識（フリーディスカッション）

- 1) 第二部生命科学系学術雑誌問題検討分科会の進捗状況について委員会委員長から説明がなされ、活発な意見交換が行われた。

## 5. その他

第二部会員間、あるいは日学全体の会員間で各委員の意見交換するためのシステム、プラットフォームの構築について提案があり、メーリングリストの作成やメールアドレスリストの共有化について進めていくこととなった。

以上